

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【公表番号】特表 2019-521968 (P2019-521968A)

【公表日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【年通号数】公開・登録公報 2019-032

【出願番号】特願 2018-561622 (P2018-561622)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/56 (2017.01)

A 6 1 K 47/59 (2017.01)

A 6 1 K 47/58 (2017.01)

A 6 1 K 47/61 (2017.01)

A 6 1 K 47/60 (2017.01)

A 6 1 K 47/62 (2017.01)

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/06 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/22 (2006.01)

A 6 1 P 11/08 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 5/44 (2006.01)

A 6 1 P 3/02 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 33/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/54 (2017.01)

【 F I 】

A 6 1 K 47/56

A 6 1 K 47/59

A 6 1 K 47/58

A 6 1 K 47/61

A 6 1 K 47/60

A 6 1 K 47/62

A 6 1 K 31/436

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 25/08

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P	43/00	1 1 3
A 6 1 P	43/00	1 1 2
A 6 1 P	25/06	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	33/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	11/08	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	5/44	
A 6 1 P	3/02	
A 6 1 P	3/02	1 0 1
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	33/06	
A 6 1 K	47/54	

**【手続補正書】****【提出日】** 令和2年5月26日 (2020.5.26)**【手続補正 1】****【補正対象書類名】** 特許請求の範囲**【補正対象項目名】** 全文**【補正方法】** 変更**【補正の内容】****【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

患者の胃に投与するための胃内滞留システムであって、前記胃内滞留システムは：

エラストマー成分、ならびに担体ポリマー及び前記エラストマー成分に結合している治療薬又はその塩を備える複数の少なくとも3つの担体ポリマー - 薬物成分を備え、

前記複数の担体ポリマー - 薬物成分の各々は、近接端部、遠位端部、及びそれらの間の外面を備える細長部材であり；

各細長部材の前記近接端部は、前記エラストマー成分に結合し前記エラストマー成分から放射状に突出しており、各細長部材は、前記エラストマー成分に結合していないその遠位端部を有し、前記近接端部より前記エラストマー成分からのラジアル距離が大きい位置にあり；

各細長部材は、1つ以上のセグメントを独立して備え、各セグメントは、近接端部、遠位端部、及びそれらの間の外面を備え；

少なくとも1つの細長部材の少なくとも1つのセグメントは、強化材をさらに備え、前記強化材は、前記少なくとも1つのセグメントに沿って軸方向に延び；及び

2つ以上のセグメントが細長部材内に存在する場合、各セグメントはリンカー領域により隣接セグメントと結合している、

前記胃内滞留システム。